



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社豆蔵 上場取引所 東
コード番号 202A URL <https://mamezo.tech/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）中原 徹也
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部本部長 （氏名）泉 健憲 TEL 03-6258-1134
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月12日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	5,809	10.3	1,113	14.7	1,112	17.3	786	26.7
2025年3月期中間期	5,266	—	971	—	948	—	621	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 786百万円（26.7％） 2025年3月期中間期 621百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	49.03	47.81
2025年3月期中間期	38.77	37.86

- （注）1. 当社は、2024年3月期中間期については中間連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期中間期の対前年同中間期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2024年4月15日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。
3. 当社は、2024年6月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、新規上場日から2025年3月期中間期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	4,491	3,233	72.0
2025年3月期	4,712	3,409	72.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 3,232百万円 2025年3月期 3,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年3月期	—	30.00			
2026年3月期（予想）			—	31.00	61.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

〔参考情報〕

当社は、2025年10月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズの3社の吸収合併したことに伴い、単体で業績を開示することとなるため、2026年3月期の連結業績予想は行っておりません。連結決算から非連結決算へ移行することによる業績予想の修正については、本日（2026年11月12日）公表いたしました「非連結決算への移行、2026年3月期個別業績予想および特別利益の計上に関するお知らせ」をご覧ください。なお、仮に2026年3月31日まで連結決算を継続した場合の連結業績予想は、以下の通りとなります。

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	11,607	10.0	2,142	3.5	2,140	4.3	1,447	0.9	90.17

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	16,050,000株	2025年3月期	16,050,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	—株	2025年3月期	—株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	16,050,000株	2025年3月期中間期	16,026,503株

（注）当社は、2024年4月15日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数（中間期）を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、資料P. 4「1.（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の減少や住宅市場の停滞感がみられるものの、雇用・所得環境の改善に加え、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いています。一方、米国と各国間の関税をめぐる動向が注視されるなか、中東及びウクライナ情勢を背景とする地政学的リスクも継続しており、世界経済の先行きには依然として不透明感が残るものの、一部では回復の兆しも見られます。

このような市場環境のもと、当社グループが展開する事業領域に関連するDX（注1）市場では、企業の業務改革や新たなビジネス創出に向けた取組みが一段と進展し、IT投資は引き続き高水準で推移しています。レガシーシステムの刷新やクラウドサービスを活用したデータ利活用の拡大、AI（注2）の社会実装と応用領域の拡大が進むなど、デジタル技術を核とした変革の動きが広がっています。また、車載ソフトウェア市場の成長やロボット導入ニーズの高まりなど、当社グループの事業機会に直結する分野も活発な動きが広がっています。一方で、慢性的なIT人材の不足や、多品種少量生産といったロングテール市場における自動化の難しさなど、構造的な課題の解決が引き続き求められています。

当社グループは「CREATE THE FUTURE TOGETHER～AIソフトウェア工学のチカラで、共にデジタル世界を創造する～」をミッションに掲げ、技術力を最大限に発揮しながら、グループ各社が有する資産や組織能力の深化に努めてまいりました。最新のコンピュータ技術を駆使し、情報サービス関連事業を通じて、お客様企業の業務変革を支援するサービスの提供を進めております。

この結果、当中間連結会計期間において売上高5,809,093千円（前年同期比10.3%増）、営業利益は1,113,832千円（前年同期比14.7%増）、経常利益は1,112,667千円（前年同期比17.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は786,963千円（前年同期比26.7%増）となりました。

当社グループは情報サービス関連事業の単一セグメントですが、サービス区分別の経営成績は次の通りであります。

（クラウドコンサルティング）

当中間連結会計期間は、一般事業法人を対象とした基幹システム刷新に伴う基盤構築案件を中心に、クラウドネイティブ環境を前提とした高難度な技術支援の受注が堅調に推移しました。お客様のニーズに合わせたサービス、ビジネスモデル、プロセス、組織変革、そしてその実現を支援しています。AI要素を高めることでAIクラウドコンサルティングへの転換を図っています。また、Microsoft社のERP（注3）ソリューション「Microsoft Dynamics 365 Finance、Microsoft Dynamics 365 Supply Chain Management」の導入支援サービス案件受注も堅調に推移しています。その結果、売上高は2,110,331千円（前年同期比8.8%増）、売上総利益は813,961千円（前年同期比17.1%増）となりました。

（AIコンサルティング）

当中間連結会計期間は、生成AIを活用した共創型プロジェクトを中核に、AI導入や業務設計、PoC（概念実証）に関するコンサルティング案件の受注が好調に拡大しました。その結果、売上高は410,044千円（前年同期比17.6%増）、売上総利益は168,311千円（前年同期比61.0%増）となりました。

（AIロボティクス・エンジニアリング）

当中間連結会計期間は、ロボット導入による自動化支援案件の受注が堅調に推移しています。OEMメーカーとの協業による自動車関連での自動運転や、工場での自動化支援の案件も順調に拡大、戦略的人材育成支援サービスも業績に寄与しました。その結果、売上高は998,178千円（前年同期比11.1%増）、売上総利益は225,142千円（前年同期比15.0%減）となりました。

（モビリティ・オートメーション）

当中間連結会計期間は、自動車関連システムの企画・開発を中核に、CASE（注4）関連の開発やIoTデバイス、ADAS（注5）、自動運転の開発案件受注が順調に推移しています。Electric分野ではMBSE（注6）を活用したモーター制御支援案件も堅調に拡大しています。特に、ファクトリーオートメーションでは、スマートファクトリー化を推進し、生産ライン自動化支援サービスが高く評価されました。その結果、売上高は2,290,539千円（前年同期比10.2%増）、売上総利益は759,465千円（前年同期比13.9%増）となりました。

（注） 1. DX：Digital Transformationの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

2. AI：Artificial Intelligenceの略。人間の知的能力をコンピュータ上で実現する、様々な技術・ソフトウェア・コンピュータシステムのこと。
3. ERP：Enterprise Resource Planningの略。企業全体を経営資源の有効活用の観点から統合的に管理し、経営の効率化を図るための手法・概念のこと。転じて、これを実現するための統合型（業務横断型）ソフトウェア（統合基幹業務システム）を「ERPパッケージ」もしくは「ERP」と呼ぶ。
4. CASE：Connected（コネクティッド）、Autonomous（自動運転）、Shared（カーシェアリングとサービス）、Electric（電気自動車）という、自動車業界の今後の方向性を定義づける4つのテーマの頭文字を繋げた用語。
5. ADAS：Advanced Driver-Assistance Systemsの略。先進運転支援システム。ドライバーの安全性を確保するための運転支援機能の総称。車間距離の自動制御装置、前方衝突の警告機能、衝突回避のための自動ブレーキ機能、道路標識を自動認識して警告する機能などがある。
6. MBSE：Model-Based Systems Engineeringの略。開発過程で検討対象となるあらゆるものをモデル化して取り扱う考え方で、複数のシステムが相互に関連しあってサービスを提供するような複雑なシステムを構築するのに有用な手法。

それぞれのサービスの事業領域は以下の通りとなります。

サービス区分	事業の内容
クラウドコンサルティング	幅広い業種の大手企業に対して、クラウドをはじめとする最先端技術を活用した内製化推進コンサルティング、ERP導入、教育サービス等をご提供しています。 対象会社：株式会社豆蔵、株式会社エヌティ・ソリューションズ
AIコンサルティング	デジタルトランスフォーメーションを推進する企業に対して、AIを活用したデータ利活用・システムの企画、設計、アルゴリズムの開発およびコンサルティング、生成AI導入支援サービスをご提供しています。 対象会社：株式会社豆蔵
AIロボティクスソリューション	自動車・ロボット等の組込系システムを扱う企業に対してAIソフトウェア開発の技術導入支援、モデルベース開発（MBSE）、プロセス改善等のコンサルティング及び開発をご提供しています。 対象会社：株式会社豆蔵
モビリティ・オートメーション	自動車・航空宇宙・船舶分野に関連したAIソフトウェア・ハードウェアの開発支援並びに教育サービス、ファクトリーオートメーション実現に向けたコンサルティングをご提供しています。 対象会社：株式会社コーワメックス

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産総額は4,491,992千円となり、前連結会計年度末に比べ220,407千円減少いたしました。流動資産は166,604千円減少、固定資産は53,803千円減少しております。主な要因は流動資産においては現金及び預金が302,040千円減少、売掛金が149,610千円増加、固定資産においては機械及び装置（純額）が61,122千円増加、建設仮勘定が82,087千円減少、ソフトウェアが229,329千円増加、ソフトウェア仮勘定が261,496千円減少したことによるものです。

当中間連結会計期間末における負債総額は1,258,903千円となり、前連結会計年度末に比べ44,371千円減少いたしました。主な要因は流動負債において短期借入金が100,000千円減少、未払法人税等が53,422千円増加したことによるものです。

当中間連結会計期間末における純資産は3,223,088千円となり、前連結会計年度末に比べ176,036千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益を786,963千円計上する一方、963,000千円の配当を実施したことによるものです。

（3）キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ302,040千円減少し、当中間連結会計期間末には1,530,794千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動の結果得られた資金は721,377千円（前年同期比4.7%減）となりました。主な要因は税金等調整前中間純利益1,112,667千円、売上債権の増加額154,318千円、法人税等の支払額279,011千

円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動の結果得られた資金は39,915千円（前期は90,606千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入11,000千円及び無形固定資産に係る負担金受入による収入30,000千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動の結果支出した資金は1,063,333千円（前年同期比270.9%増）となりました。これは主に配当金の支払額963,000千円によるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年10月1日付で当社の完全子会社である株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズの3社を吸収合併したことに伴い、2026年3月期第3四半期決算より非連結決算へ移行いたします。個別業績予想につきましては、本日（2025年11月12日）公表いたしました「非連結決算への移行、2026年3月期個別業績予想および特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、「サマリー情報 3. 2026年3月期の連結業績予想」の〔参考情報〕には仮に2026年3月31日まで連結を継続した場合の連結業績予想を記載しております。業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,832,835	1,530,794
売掛金	1,466,943	1,616,554
契約資産	88,192	92,901
製品	20,011	41,796
仕掛品	60,040	35,888
原材料	30,653	34,871
その他	181,661	160,927
流動資産合計	3,680,339	3,513,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	101,410	96,761
機械及び装置（純額）	69,283	130,405
工具、器具及び備品（純額）	20,867	25,468
リース資産（純額）	2,626	2,323
建設仮勘定	82,087	—
有形固定資産合計	276,273	254,959
無形固定資産		
ソフトウェア	75,170	304,500
ソフトウェア仮勘定	261,496	—
その他	1,040	984
無形固定資産合計	337,708	305,484
投資その他の資産		
繰延税金資産	174,471	180,439
その他	243,606	237,373
投資その他の資産合計	418,078	417,813
固定資産合計	1,032,060	978,257
資産合計	4,712,399	4,491,992

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,478	184,110
短期借入金	100,000	—
リース債務	666	666
未払金	105,293	90,728
未払費用	118,106	119,022
未払法人税等	298,777	352,200
未払消費税等	180,787	174,561
賞与引当金	258,973	268,069
受注損失引当金	1,499	—
その他	47,719	57,800
流動負債合計	1,291,302	1,247,159
固定負債		
リース債務	2,222	1,888
資産除去債務	9,750	9,855
固定負債合計	11,972	11,744
負債合計	1,303,275	1,258,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	130,714	130,714
資本剰余金	31,214	31,214
利益剰余金	3,246,969	3,070,933
株主資本合計	3,408,897	3,232,861
新株予約権	226	226
純資産合計	3,409,124	3,233,088
負債純資産合計	4,712,399	4,491,992

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自2024年4月1日 至2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自2025年4月1日 至2025年9月30日）
売上高	5,266,105	5,809,093
売上原価	3,534,977	3,842,210
売上総利益	1,731,128	1,966,882
販売費及び一般管理費	759,714	853,049
営業利益	971,413	1,113,832
営業外収益		
受取利息	22	555
助成金収入	4,797	250
保険配当金	—	2,157
その他	300	692
営業外収益合計	5,120	3,655
営業外費用		
支払利息	333	540
上場関連費用	25,406	—
保険解約損	—	3,540
その他	2,120	739
営業外費用合計	27,860	4,820
経常利益	948,674	1,112,667
特別損失		
固定資産除却損	7,896	0
特別損失合計	7,896	0
税金等調整前中間純利益	940,778	1,112,667
法人税、住民税及び事業税	303,430	331,672
法人税等調整額	16,034	△5,968
法人税等合計	319,464	325,703
中間純利益	621,313	786,963
親会社株主に帰属する中間純利益	621,313	786,963

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自2024年4月1日 至2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自2025年4月1日 至2025年9月30日）
中間純利益	621,313	786,963
中間包括利益	621,313	786,963
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	621,313	786,963

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自2024年4月1日 至2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自2025年4月1日 至2025年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	940,778	1,112,667
減価償却費	40,829	56,757
賞与引当金の増減額（△は減少）	9,098	9,095
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△1,652	△1,499
受取利息	△22	△555
支払利息	333	540
固定資産除却損	7,896	0
売上債権の増減額（△は増加）	△90,713	△154,318
棚卸資産の増減額（△は増加）	38,551	△1,851
仕入債務の増減額（△は減少）	2,629	4,631
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△70,319	△21,859
未払消費税等の増減額（△は減少）	△35,654	△6,225
その他	△16,841	584
小計	824,913	997,965
利息の受取額	22	555
利息の支払額	△333	△540
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△72,527	△279,011
その他	4,797	2,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	756,871	721,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,477	△3,520
有形固定資産の売却による収入	—	11,000
無形固定資産の取得による支出	△3,195	△2,490
無形固定資産に係る負担金受入による収入	—	30,000
その他	△39,934	4,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,606	39,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△100,000
リース債務の返済による支出	△111	△333
株式の発行による収入	61,428	—
配当金の支払額	△348,000	△963,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286,682	△1,063,333
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	379,582	△302,040
現金及び現金同等物の期首残高	828,367	1,832,835
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,207,949	1,530,794

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループの事業内容は情報サービス関連事業のみであり、区分すべき事業セグメントは存在しません。従って報告セグメントも単一であるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（連結子会社の吸収合併）

当社（旧会社名 株式会社豆蔵デジタルホールディングス）は、2025年3月31日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズの3社を吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結し、2025年10月1日を効力発生日として吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

（1）合併の目的

当社グループは、自動車業界をはじめ、製造、金融、商社など幅広い業界に向けて、クラウドコンサルティング、AIコンサルティング、AIロボティクス・エンジニアリング、モビリティ・オートメーションの4つのサービスを軸に、高付加価値なサービスとソリューションを提供してまいりました。また、グループ内の構造改革と事業変革を推進し、事業の成長と収益の向上を実現してまいりました。その結果、2024年6月27日に、東京証券取引所グロース市場への株式上場を果たしました。今後は、社会環境の変化を新たな価値創造の機会と捉え、経営資源の合理化及び効率化、並びに技術の融合を図るため、完全子会社3社を当社に吸収合併し、持株会社体制から事業会社体制へ移行することを決定しました。本合併により、当社グループがこれまで培ってきた経営資源を統合し、シナジーを最大限に活かすことで、Tier0.5戦略を推進し、さらなる成長を目指してまいります。

（2）本合併の要旨

①本合併の日程

取締役会決議日	2025年3月31日
合併契約締結日	2025年3月31日
合併期日（効力発生日）	2025年10月1日

②本合併の方式

当社を存続会社、株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズを消滅会社とする吸収合併であります。

③本合併に係る割当の内容

株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズは、当社の完全子会社であるため、本合併に際して、株式の発行及び金銭その他の財産の交付は行いません。

④結合後企業の名称等

名称：株式会社豆蔵（旧会社名 株式会社豆蔵デジタルホールディングス）

（注）2025年6月25日開催の定時株主総会の決議により、2025年10月1日をもって当社商号を「株式会社豆蔵デジタルホールディングス」から「株式会社豆蔵」へ変更いたしました。

なお、本合併による当社の所在地、代表者、資本金及び決算期の変更はありません。

（3）合併後の状況

本合併後、当社は株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズが営む事業を承継し、持株会社から事業会社に移行しました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2024年9月13日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。なお、この合併により、当社の当事業年度における財務諸表において、抱合せ株式消滅差益1,178,921千円を特別利益に計上する予定です。